

組織名	【矢沢地域振興会】	事業名	【伝統芸能振興事業】
新規・継続	継続（事業開始：平成20年度）	平成19年度に組織として発展的に改称した翌年度に、矢沢地域振興会の最大事業として取り組み開始。	
実施形態	矢沢地域振興会、矢沢地区教育振興協議会、矢沢地域民俗芸能保存団体協議会の三者が拠出する助成金が運用資金		
実施主体	矢沢伝統芸能伝承大会実行委員会（現在は矢沢地域振興会・矢沢地区教育振興協議会・矢沢地域民俗芸能保存団体協議会の役員等からなる41名で構成）		

【矢沢地域民俗芸能保存団体協議会とは】

◎平成20年2月2日に、「子どもや若者の郷土芸能の伝承活動を推進するとともに、公演の場を設けるなど地域全体で郷土芸能の伝承に取り組む」ことを目標として結成（当時13団体、現在15団体）

⇒ 矢沢地域振興会からの各芸能団体交付金助成事業の受け皿となる連絡組織（交付金48万円）

◎協議会発足1年後の平成21年1月18日に第1回矢沢伝統芸能伝承大会開催

⇒ 初めての催しに多くの観客が来場し大盛況。一方、冬季の開催による寒さが問題となり翌年から秋の収穫を終えた11月の開催となる。

【伝承大会開催の目的】

◎ふるさと矢沢に連綿と続いてきた神楽、舞、唄などの伝統芸能の隆盛を図りながら、後世に伝承していく活動を行い、地域住民のふるさと意識の高揚と世代間交流によりコミュニティ意識の醸成を図り、健康で豊かな住みよい地域づくりに資することを目的とする。

第1回 矢沢伝統芸能伝承大会 2009年1月18日(日)



第1回大会
DVD表紙

事業概要

◎スケジュール

- (1) 伝統芸能振興事業部会会議（平成27年度の矢沢地域振興会役員会で設置が決定、会員17名、会長：矢沢地域民俗芸能保存団体協議会会長が兼務）、7月下旬開催（大会運営の概要検討）
- (2) 矢沢伝統芸能伝承大会実行委員会（会員41名、会長：矢沢地域振興会会長）、9月下旬開催（大会概要決定）
- (3) 伝承大会（11月中の日曜日の午後開催、後片付け後に直会開催（役員・小・中・高生を含む出演者等多数参加）

◎具体的な方法・手順

- ①出演団体への依頼文書②協賛者への依頼文書③ご来賓案内文書④実行委員及び芸能団体への協力依頼
- ⑤地域への回覧用チラシ作成（班回覧346部）⑥当日配布のリーフレット作成（300部）
- ⑦協賛者へのご案内文書（リーフレット同封）⑧音響設備及びDVD作成業者依頼
- ⑨出店依頼（地元の菓子作りの名人）⑩大会前日の実行委員及び神楽団体による会場設営
- ⑪大会当日の対応（会場整理・駐車場整理・受付・観覧・後片付け等）⑫大会翌日の最終片付け
- ⑬出演団体へのDVD配布⑭直会の手配等準備

◎参加人数

- ①部会：部会員＋振興会会長・副会長＝19名
- ②実行委員会：41名③大会前日の準備：50名
- ④大会当日：350名（実行委員等50名、出演者100名、観客200名）
- ⑤直会（100名）



幸田神楽 天下り

第10回記念大会（平成29年11月26日開催）

記念事業

- (1) 記念講演：花巻市総合文化財センター所長・中村良幸氏「矢沢の伝統芸能」
- (2) 物品購入：役員用半纏（50着）、のぼり旗購入（10本）
- (3) 寄贈：矢沢地域民俗芸能保存団体協議会より垂幕寄贈（2本）
- (4) 招待演目：谷地鬼剣舞保存会による「刀剣舞の狂踊り」「宙返り」「三人加護」

矢沢の伝統芸能を守り育てて10年



新調した半纏をまとい挨拶する押切会長



振興センター前ののぼり旗



直会(なおらい)で挨拶する矢沢地域民俗芸能保存団体協議会の神山会長



胡四王神楽による御神楽奏上



楓ノ木神楽メンバーによる「御祝い唄」



来賓挨拶をする上田花巻市長



本大会から矢沢明老大学の定例会を兼ねて開催
悪天にも関わらず多くのご来場を頂きました。



矢沢中学生20人による見事な「権現舞」



矢沢地域民俗芸能保存団体協議会から寄贈された垂幕



幸田神楽による「四人八幡舞」



矢沢伝統芸能伝承



矢沢伝統芸能伝承

胡四王神楽・小学生8名による「鳥舞」



矢沢保育園園児10人による「しんがく」



島保育園園児14名による和太鼓「薫薔」



高木小路スポーツ少年団10人による祝いの舞



鬼剣舞「三人加護」



鬼剣舞「宙返り」



谷地鬼剣舞保存会による「刀剣舞の狂踊り」

伝統芸能の課題と成果

◎ 神楽団体の存続の困難さ

令和6年度に 東十二丁目行政区内の1団体が後継者難のために解散 ⇒ 今後、解散する団体を阻止するためにも、この伝承大会の役割の重要性が大きくなった。

◎ コロナ禍後の伝承大会の再開

コロナ禍の空白時期を経て伝承大会の再開が危惧されたが、胡四王神楽や幸田神楽を始め神楽団体は細々ではあったが、継続的に練習を重ねたことにより令和4年に3年ぶりの第13回大会再開へ向けて前向きに取り組めた。

◎ 第13回伝承大会（再開大会：令和4年11月20日開催）

- ・開催時間を短縮するため、幸田神楽と胡四王神楽の演目を通常大会の3演目から2演目に減らして実施。

- ・コロナ対応として涙を吞んで直会を中止とした。⇒ 翌年の通常開催の喜びが増大

◎ 新たに第12回大会から 胡四王百姓踊りが復活

◎ やさわこども園や島こども園の年長児による演技におじいちゃんおばあちゃんも喜びの観覧

◎ 胡四王神楽や幸田神楽では小学生を始め子ども達も練習から参加。伝承大会でも見事な演技を披露

◎ 今年の大会には幸田神楽の弟子神楽である高松神楽が鶏舞をご披露



回 覧

第15回

矢沢伝統芸能伝承大会

と き：令和6年11月17日(日) 午後1時～ (入場無料)
と ころ：矢沢振興センター 講堂

● みんなの力で
伝統芸能を守り育て伝えよう！



【演目】出演団体

- 「御神楽奏上」幸田神楽
- 1 「ご祝い」高木小路行政区
- 2 「和太鼓 蘆薈・雷夢」島こども園
- 3 「しんがく」やさわこども園
- 4 「百姓踊り」胡四王百姓踊り保存会
- 5 「三番舞」胡四王神楽
- 6 「踊舞」高松神楽
- 7 「四人八幡舞」胡四王神楽
- 8 「松迎」幸田神楽
- 9 「鞍馬」胡四王神楽
- 10 「五穀舞」幸田神楽
- 11 「権現舞」胡四王婦人神楽

主催 矢沢伝統芸能伝承大会 実行委員会

矢沢伝統
芸能
大会

矢沢の力！

矢沢伝統芸能伝承大会 開催

11月19日(日)、矢沢振興センター講堂で、第14回矢沢伝統芸能伝承大会を開催。当日はあいにくの空模様でしたが、多くの方に足を運んでいただき、今回はコロナ禍前と同じ通常公演となり、7団体・11演目の熱演に大きな感動を頂きました。



司会の高橋秀造さん



御神楽奏上：胡四王神楽



矢沢伝統芸能伝承大会



ご祝い唄：高松第三行政区の皆さん



曾我兄弟：幸田神楽



しんがく：やさわこども園



和太鼓 蘆薈・雷夢：島こども園



権現舞：高木小路神楽



鳥舞：胡四王神楽



百姓踊り：胡四王百姓踊り保存会